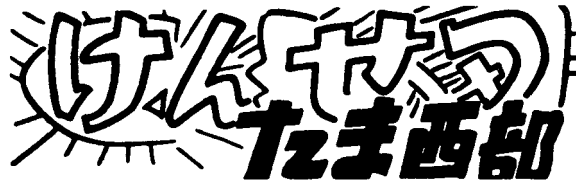


支部事務所の夏休み

8月12日(金)より16日(火)まで
支部夏休みのため事務所を閉めます。
(ご用件は早めをお願いします)



発行所
東京土建一般労働組合
多摩西部支部
昭島市中神町2-4-19
電話 042-546-1577 (代)
発行責任者 白倉和行



核のない平和を願い

= 10kmを歩ききった! =

出発してから雨の日、風の日、暑さにも負けず最終地点の東京九段の日本教育会館をめざし歩き続けてきた気の遠くなるような強行軍です。

私たち多摩西部支部は西多摩あきる野地区の人達からバトンを受け(福生・立川コース)第3、4ブロック分会の人達と福生公園より立川砂川支所を目指し、全長10.6kmを元気に歩ききりました。

しかし、この平和大行進を通して歩いている「通し行進団」の頑張りに感心しました。

24日は立川・国立コース8kmを第1・2ブロックの分会代表らが歩きました。私たちも通しでの参加はできませんでしたが、一歩でも二歩でも一緒に参加できたことに意義があったと思いました。

【教宣部長・白倉和行】

原爆の投下から71年。今年もヒロシマとナガサキで原水爆禁止世界大会が開催されます。アメリカのオバマ大統領の広島訪問(5月27日)と「核廃絶の先頭に立つ」との演説を確実・現実のものとするための草の根の運動が求められています。
(=写真は福生公園から出発する前の参加者)

7月23日の平和大行進に参加しました。この国民平和大行進は5月に日本の最北端・北海道礼文島を

産業対策の運動を進めよう

7・31 活動者会議

仕事・賃金・労働衛生・技術の各専門部の課題を一堂に会して総合的に学習する「産業対策活動者会議」が7月31日、多摩教育センターで開催され、計56人が参加しました。

賃金対策は村松加代子さん(本部賃対部書記、写真上)から「設計労務単価が4年連続して引き上げられたが、実効性のあるものではなく国の政策的な単価だ。賃上げするには現場からの要求が不可欠



だ。また、労働対策では松舘寛さん(同労対部書記、写真下)から「業務上の負傷に起因する腰痛には労災の申請を」などと具体的な労災申請のしかたの説明がなされました。



技術関連では東京建築カレッジのDVD上映で「プレカット用法でない手きざみによる家屋の建て方」を学ぶカレッジの生徒たちのナマの声を紹介し、生徒の募集を訴えました。



作家で社会的な活動も精力的に行っている雨宮処凛さんの意見です。英国のチルコット委員会がイラク戦争の検証報告書を公表したことに触れ、「待ち望んでいた1人で、真っ先に戦争支持をした日本(小泉元首相・安倍副官房長官、いずれも当時)では何もなかった。選挙では安保も憲法も争点とならなかった。マスコミもISの過激派の恐怖だけをあおっているのでは」と。「ISの発生した根本的な原因を問おうとしない」。広く報道はなされませんが、民間の有志によって開かれた公聴

会の場で元防衛官僚・柳澤協二さんは「戦争とは思考の停止と空気を読む組織と自己保身がそろって初めて可能となる」という趣旨の発言をしたそう。雨宮さんは「英国では戦争を主導したブレア首相批判のデモが起きた。日本では…この日本という国の人々はどうやらとても忘れっぽい。ISの台頭とテロの惨状に責任の一環はあるのでは」と言っています。「テロとの戦い」を言う前に、検証すらせずに真っ先に手を上げて米英に追従した日本の安保・憲法観をこそと論議されるべきではないのか。

繰り返すな不幸な出来事 平和特集

27年前の7月。東京新宿区の一部から多数の人骨が出てきた。調べてみると、「731部隊」を思わせるおぞましい実態が明らかとなってきました。白倉教宣部長は「繰り返してはならない不幸な歴史」とし、いま、「真実を知ることが極めて重要だ」。不戦の誓いをあらたにしました。

本部第2回教宣部会が開催され、集まった各支部の教宣部員の皆さんと外部取材に行く予定が、訳あって本部内での学習会となった。

■多数の人骨が出現

午前中の学習は「軍医学校跡地で発見された人骨問題を究明する会」の事務局長・鳥居靖さんよりの講演であった。戦後71年となり戦争の関係者がどんどん少なくなっていくなか、当時、陸軍軍医学校が新宿区戸山にあり国立予防衛生研究所（現・国立感染症研究所）があった。この場所に新しく病棟建設のため工事を開始したところ、多数の人骨が現れた。1989年7月22日のことである。

関係各省や警察、科捜研などで調べて鑑定の結果、人骨100体以上となりアジア系多人種を含む、銃創、切創、手術跡、鋸断痕などが見られた。どうやら731部隊のような人体実験を行っていたのではと考えられているようだ。このように冒頭からショッキングな話を聞いて驚いた。

■事実を正しく理解

しかし、私たち戦争を知らない者も過去の歴史や事実を正しく理解することでここで何が行われていたのか、現在も世界各地で紛争の中、同様のことが行われていないか厳しい目で事実を知ることが重要なのではないかと、そうすることで双方の不幸な出来事を繰り返さないようにしなければならない。そのためにも現在、人類学者や人骨の会、日弁連と多くの方達が研究、鑑定をしている。早く身元が確認され安らかに安置されることを祈らずにいられない。

午後の講演は「沖縄基地問題」と題して沖縄タイムス東京支社・報道部長の宮城栄作さんから沖縄が抱える問題を詳しく聞いた。戦中、戦後と沖縄は大変な苦労を強いられてきた。そして今も普天間、辺野古をはじめ、多くの土地を接収されている。沖縄は日本なのです。日米地位協定などという米軍の国策を押し付けられていいように利用されているのではないかと。

■米軍の国策の押し付け

そして今も北部訓練場ヘリパッドでの座り込み、機動隊との衝突と大変なことになっている、沖縄の人々はただ自分たちの土地を返してくれと訴えているだけなのに、私たちはあまりにも沖縄の表面的な問題しか知らないのではないかと。同じ日本人として私たちは何もしなくてもいいのか、これは私たちの問題でもあると思いました。

宮城さんのお話はとても分かりやすく非常に穏や

かな語り口のなかにも強い意志が感じられた。最後に質疑応答があり沖縄をどう思うか？との質問に、沖縄は全国都道府県の中でも個人所得が最低に近い、そんな中独立なんて考えられないです。どうぞ沖縄を見捨てないでくださいと沖縄の方から言われたことがとても心に響いた。最後に今回の共同取材を通じ歴史認識や真実を知ることの重要性を改めて感じた。

【教宣部長・白倉和行】



30代の組合員（昭島市在住の設備業）に「平和特集」の趣旨を話し、三点わたって率直な思いを聞きました。

●先の参院選の結果…投票は行った。選挙は20代からずっとしているが、同世代でも政治の話はしないヨ。ほとんどしない。

●数の上では「改憲」発議は可能だが…他人任せにしている。そんなこと考えたことはない。

●戦地へ出むきますか…本当に改憲するの？戦地で自分が何かできるかな…

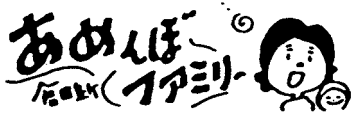
若者が美言で出撃 許せぬ戦犯の合祀

先年、シニア友の会で靖国神社参拝をしました。現地の支部シニアの会長より特別に神社奥の建物まで案内してもらいました。そこには戦争中のゼロ式戦闘機や人間魚雷の実物が展示してありました。思えば、戦争末期に「一億火の玉」と称して「学問は勝利してからすればよい」と命令され学徒動員を命じて、二十歳前後の若者をこの薄い鉄板を張っただけのような戦闘機で鹿児島県の知覧空港より出撃させ、敵艦に体当たりをさせました。

また、人間魚雷と称して、丸いハッチを閉めたら中より開けることができない一人乗りの魚雷もしかりです。神国日本を護るためとの美言のもとに失われた若者の命の写真が十六畳ほどの部屋の出入り口通路扉二枚を除き、床より八十センチくらいより二メートルくらいまで、幅六センチから十センチほどの色あせた写真を壁一面に張った部屋が三室あり、どれも二十歳前後の若者の姿です。

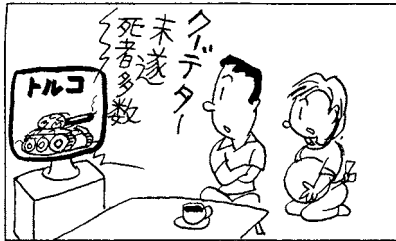
戦犯「東条等七名の合祀を外し、この若者たちの御霊に心より感謝の礼を捧げる」のが残された我々のつとめだと感じました。

【国立分会・古田好一】



立南分会

五日市でマス釣り



総勢29人が参加して開かれた立南分会のレク (=国際マス釣り場で)

立南分会恒例の夏のレクレーションは、今年も五日市の「国際マス釣り場」で開催しました。総勢29人(大人22人と子ども7人)の参加で、マス釣り大会と材料豊富なバーベキュー大会と盛りだくさんの内容で、楽しい一日を過ごしました。

マス釣りが初めての子供は、最初にかかった魚をあげたと隣隣の釣り糸に絡んで大騒ぎ。世話役はおお困りでしたが、時間がたつにつれ慣れてきてみんなで100匹以上も釣り上げ、「自分で釣ったマスはおいしい」と食べていました。

また、このレクには支部役員の水清さんの仲間の未加入者も参加。来る「秋の拡大成果」第1号となり、分会の目標達成の好スタートとなりました。

【立南分会・佐藤 裕】

青年部 いかだレース

ミニオンが大人気

昨年の88組参加からチーム数も大きく増え、今年度は95組の参加になった粕江古代カップ第26回多摩川いかだレース大会ですが、青年部で参加した「東京土



「写真を撮らせて」と大人気のミニオンを囲んでポーズをとる青年部員 (川多摩川で)

建多摩西部支部青年部」チームは残念ながら入賞にはなりませんでしたが、しかし大勢の参加したチームからいかだに乗せたミニオンは非常に人気であり、多くの参加者から写真を撮らせてもらえませんかとの声がかかりました。担当書記がレース前に川に落ちるといったアクシデントもありましたが、無事に完走することができ、改めて仲間との団結を再確認

できました。

レース後には恒例の粕江支部とのBBQに今年は渋谷支部も加わり、3支部合同で楽しみました。BBQをしながらいかだレースを見るのはとても気持ちが良いので是非来年は多くの方に応援して頂きたいと思います。

【書記・吉野直貴】

Pick-Up

山の日

今年から国民の祝日としてスタートする8月11日の「山の日」。祝日法では「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨としています。特に山に関係がある日ではありません。

日本山岳会などによる制定運動を機に超党派の議員連盟が発足。9党共同提案の改正祝日法が一昨年、成立しました。8月12日とする案もありましたが、日航123便墜落事故(1985年)の日にあたることから、11日に。この制定で日本の祝日は年16日になり、祝日がないのは6月だけです。

こよみ

8月

5日	3日	2日	1日				
リオデジャネイロ五輪開幕(21日)	秋田竿灯まつり	青森ねぶた祭	八朔				
31日	23日	16日	15日	11日	9日	7日	6日
二百十日	処暑	京都五山送り火	終戦の日	山の日	長崎原爆の日	立秋・全国高校野球選手権大会開会式	広島原爆の日、仙台七夕まつり

2016年度日曜日特別健康診断

●9月4日(日) 午前9時～12時 (メ切り8月24日)

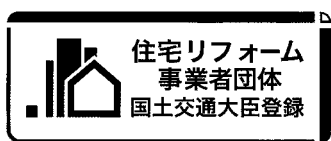
会場：立川相互ふれあいクリニック

●11月6日(日) 午前9時～12時 (メ切り10月26日)

会場：立川相互ふれあいクリニック

東京土建国保に加入する本人および家族(19歳以上)は年度内(4月から翌年3月末)1回に限り健康診断(特定健康診断)を無料で受診することができます。

また、立川相互ふれあいクリニックとあきしま相互病院で健診を受けられる40歳以上の方は「大腸がん検診」が無料となります。この機会にぜひ受診してください。



リカコ

リフォームパートナー協議会への

登録事業所を募集します

■リカコとは？

RECACO(一般社団法人リフォームパートナー協議会)のことで、東京土建が設立した団体のことです。国は消費者保護・適正なリフォーム事業者の発展という目的から2014年9月、「住宅リフォーム事業者団体登録制度」を策定。リカコは2016年2月、国より登録の認定を受けました。

■メリットは？

リカコに加入の申し込みをすれば国交省指定のロゴを使用でき、講習会への参加で知識・技能レベルを習得でき、さらには、建築資材の購入も安くなるなどの特典もあります。また、消費者にとっても安心して選定のできる事業者という判断材料になります。

■加入方法は？

組合以外の団体での登録料は年会費数十万円とも言われていますが、東京土建は1万円です。加入登録には建設業の許可や建築士の資格があれば十分です。

※詳しくは支部事務所まで問い合わせください。

たませいぶ 女性の会のとりのくみ・・・



女性の会

秋の拡大、自主目標を15人とし暑い夏をのりきり、奮闘したいと思っています!!
分会の皆さま、どうぞ、よろしくお願いたします。



女性の会への

お問い合わせ先 042-546-1577 : 河村こうむら

報 告

多摩西ブロック学習会

7月13日(水)、多摩西部支部会館3Fにて行われました。

平和を語り継ごう

8月6日(土)、八王子「浅川地下壕」を見学してきました。

多摩西部支部 女性の会 活動者会議

と き：9月2日(金)
10:00～

ところ：多摩西部支部会館3F

《午前の部》

活動者会議

学習会：成人病対策「健康教室」

本部より保健師さんをお招きし、学習します。

《午後の部》

手芸教室：アクリルたわし作成